

(特非) シャンティ山口

タイ国・北タイ地域「トウモロコシ栽培で荒廃した農地を果樹林に」 森林再生と農村開発

活動掲載ホームページのページビュー数	7,300ビュー
トウモロコシ栽培から果樹への転換農地 (2015)	38ha
活動の全体目標に対する達成度	100%



2015年7月ラムヤイに転換（陸稲共作）

◆成果と工夫したポイント

●成果

果樹への転換 [3年目標：転換農地 110ha、実績：119ha (106%)]. 健康障害軽減 (健康等知識の向上、意識改革のためのセミナー実施)。巡回医療チームの派遣定着化。専門家による家庭訪問による健康相談。

●工夫

村落開発は、住民全員参加の協働が不可欠であることから、リーダー育成とコミュニティづくりに専念した。

課題

トウモロコシ栽培から果樹への全面転換、弊害解消と森林再生（森林消滅、農薬による健康障害、飲料水減少、農薬混入、農地用土流出、残留農薬）、経済回復。

目標

果樹栽培への転換面積は 220ha と膨大であるため、3年間の事業目標 110ha を設定した。村民あげての協働取組みにより 106% を達成した。以後、「自力で、みんなで協働」で残る 110ha の達成を見とどけたい。

活動内容

トウモロコシ栽培から果樹栽培への転換。農薬散布の減少による健康障害の軽減（健康セミナー等知識の向上、意識改革）。飲料水源の変更対策。農地荒廃（枯れ葉剤の使用制限）。洪水被害（農地への作物の植栽並びに雑草の自然化）。トウモロコシ栽培から他作物、果樹へ転換奨励。農業センターでの樹木育成試験（人工堆肥の各種試行）。果樹苗の配布植栽。個別面談による保健衛生聞き取り調査。ホームステイによる人的交流。

達成できなかったこと

再生エネルギーの活用実践研究開発は、地域の生活習慣、自然条件の変化等の把握や資材の調達などの事前調査不足で、大幅な見直しを余儀なくされ、各項目試作実験で終始した。

今後の展望

協働で培った社会学習や実践体験を生活に活かし、転換した果樹の育成と残る転換を目指した自立を願っている。



2013年3月トウモロコシ収穫後の状況